

2009年4月8日

進路便り

清友高校 進路指導部

大学・短大・専門学校への進学を希望する諸君へ

自らの努力で進路を実現しよう

特に AO入試について

①はじめに

最終学年の3年生がスタートしました。言うまでもなく、君たちの進路を決定する最も大切な時期を迎えたわけです。既に、進路の方向性は定まっていると思いますが、具体的な進路決定は下記のように夏休みから2学期にかけてと思っている人が多いと思います。

参考資料 進路決定時期

学校就職	7月に受験企業決定→9月16日から就職試験
指定校推薦	9月初旬校内選考→10月より受験開始
公募制推薦	10月～12月に受験

しかし近年の傾向として、AO入試を実施する学校が急激に増えてきました。大学・短大・専門学校の側としては、早期に入学生を確保したいという意図がはたらき、学校によっては1学期の早い段階からAO入試を実施しています。

そこで、**3年生は4月に入ったばかりですが、進路に対する態度を明確に**しなくてはならなくなっているのです。

②AO入試とは

Admission Office の略。その大学・短大の教育理念に共鳴し、その学校で学びたいという強い意識を持つ人材を選ぶという趣旨で開設された制度です。従って、学力検査は行わず、書類審査（自己推薦書・志望理由書・論文・活動報告書・調査書）や、時間をかけた面接（または集団討論）などで、受験生の意欲や能力を総合的に判断し可否を判定するものです。

しかし現状は本来の趣旨と異なり、「入学生確保」の為の入試制度に変質している傾向が強くなってきました。また、学校推薦ではないので、受験生個人が高校を通さずに「個人的に」大学・短大・専門学校に申し込むこととなります。大学・短大側は、定員を確保したいので、今まで以上に早い時期にAO入試を実施することが予想されます。君たちの2年先輩の29期生では、5月の連休中にAOの説明会に行き正式エントリー

をした先輩がいました。受験生心理では、「早い時期に進路を確保したい」「勉強は苦手なので学力検査は避けたい」という気持ちは大いにあります。しかし、納得して確信を持って進路決定をしなければ、後で後悔するのは君たち自身です。

なお、AO入試で合格した場合、専願扱いですので必ず入学しなくてはならないこともしっかり踏まえて下さい。

③ AO入試に対する考え方。

結論を先に言えば、価値あるAO入試と価値のないAO入試とがあり、その見極めが非常に大切だという事です。

自分にとって、第1希望の大学で第1希望の学科がAO入試での応募があり、しかもその大学の入学試験が超難関の場合はAO入試での受験を薦めます。しかし、それ以外の場合は、AO入試での受験を薦められません。あくまで、第1希望の進路にむけて、学力をつけるための精一杯の努力をして欲しいのです。

価値あるAO入試の例 (学力検査での合格は難しいが、意欲・目的意識・今までの活動実績が評価された例)

立命館大学 経営学部

小論文 面接

父が中小企業を経営していたが倒産した。その重大性とその原因を日本経済の現状の中で分析した。

(※清友高校と同レベルの高校での例です)

関西大学 文学部

面接及び自己推薦文

学外でのスポーツ活動の実績とその過程で得たもの。

関西福祉科学大学 臨床心理学科

面接及び自己推薦文・集団討論

自分が悩んでいたとき周りの人から支えられた体験をふまえ、今度は支える側に立ちたい。

④ AO受験を受けようと思う諸君へ

AOに関する情報は、必ずしも高校側に入ってくるわけではありません。上記の内容をよく考えた上で、決定して下さい。また、**必ず担任の先生か進路の担当の先生に相談**に来て下さい。面接や小論文のウエートが大きいので、積極的に指導をお願いすることも大切です。

⑤おわりに

進路は努力する過程で決定されて行くものです。**努力を続けている人は、さらに新しい目標が見えて来ることもあります。逆に、努力から遠ざかっている人は、目標を知らず知らずに下げて、妥協した進路決定をしてしまう事もあります。**

この点は、9月初旬に指定校を決める際にも言えます。**安易にAO入試や指定校推薦で進学先を決定することはお薦めできません。自分の努力で自分の進路をつかみとって下さい。**